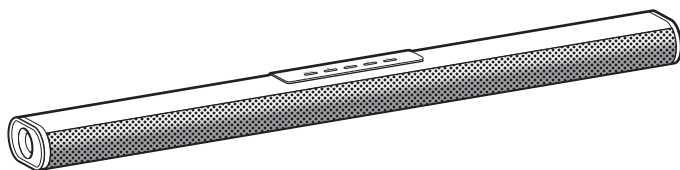


Bluetooth[®]送受信機能付き バースピーカー

品番: **ESP-C900**

取扱説明書



■安全上のご注意.....	2
■使用上のご注意.....	5
■各部のなまえ.....	6
■付属品.....	7
■本体の準備.....	8
リモコンの準備.....	8
■機器を接続する.....	9
■使いかた.....	10
電源を入れる／切る.....	10
モードを切り替える.....	10
Bluetooth [®] モード.....	11
AUX モード.....	16
光デジタル音声出力モード.....	16
HDMI (ARC) モード.....	17
USB モード.....	17
そのほかの機能について.....	18
操作のしかた.....	19
■困ったときは.....	21
■おもな仕様.....	22
■保証書.....	23
保証規定.....	23
■アフターサービス.....	24

はじめにお読みください



このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

安全上のご注意




ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について





この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。





 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。





絵表示の例

	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------






一般的な注意事項

 警告	
 ACアダプタを抜く	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ACアダプタやACアダプタコードが異常に熱い。 ACアダプタやACアダプタコードを動かすと通電したりしなかったりする。 異臭や異音がする。 煙が出ている。 本体が変形したり、異常に熱くなる。 <p>火災・感電の原因になります。 このようなときはすぐに電源を切りACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
 分解禁止	<p>機器を分解しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>修理技術者以外の人による修理・改造はしない</p> <p>感電の原因になります。本製品の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。</p>

 注意	
 禁止	<p>本書に記載以外の用途や方法で使用しない</p> <p>けがや事故の原因になります。</p>
 禁止	<p>業務用として使用しない</p> <p>本製品は一般家庭における屋内での使用を想定した製品です。業務使用や屋外では絶対に使用しないでください。</p>
 必ず守る	<p>ペースメーカーなどの医療機器を使用している場合は、必ず医師に相談のうえで使用する</p> <p>医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。</p>






 注意	
 必ず守る	<p>本製品を使用する際は、必ず接続機器メーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告、注意指示にしたがう</p>
 必ず守る	<p>接続機器および周辺機器の取り扱いは、各取扱説明書をよく読んで、各メーカーが定める手順にしたがう</p>
 禁止	<p>船舶や自動車の直流（DC）電源には接続しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>

電源・ACアダプタコード・ACアダプタについて






 警告	
 禁止	<p>ACアダプタ・ACアダプタコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>表示された電源電圧、交流 100V以外の電圧で使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>ACアダプタ・ACアダプタコードを傷つけたり、破損させない</p> <p>また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない</p> <p>コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>ACアダプタ・ACアダプタコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</p>


安全上のご注意 (つづき)




電源・ACアダプタコード・ACアダプタについて (つづき)

⚠ 警告	
 必ず守る	ACアダプタは確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因になります。
 必ず守る	ACアダプタは抜き差ししやすいコンセントに接続し、異常が生じた場合は、すみやかにコンセントから抜く 本製品は電源ボタンで電源を「切」にただけでは、完全に電源は「切」にはなりません(通電状態となっています)。
 禁止	ACアダプタを抜くときは、ACアダプタコードを引っ張らない 感電・破損の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない 火災・感電の原因になります。
 禁止	ACアダプタコードを発熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
 必ず守る	ACアダプタプラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときは、乾いた布で拭き取る 火災やショートの原因になります。
 禁止	タコ足配線をしない 火災・感電の原因になります。







設置について

⚠ 警告	
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
 禁止	周囲に可燃性のものがある所に設置しない カーテン、じゅうたん、毛布、カバークロス、衣服、新聞紙などの紙、ホコリなどに注意してください。火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	水が入る、ぬれるような場所では使用しない 火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。また屋外では使用しないでください。
 水ぬれ禁止	本製品を水滴または飛沫がかかる場所に置かない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	風呂場では使用しない 水などをかけないでください。火災・感電の原因になります。

⚠ 警告	
 禁止	次の場所には設置しない ・強い磁界が発生する所 ・静電気が発生する所 ・温度、湿度が接続機器が定めた使用環境を超える、または結露する所 ・振動が発生する所 ・平らではない所 ・直射日光が当たる所 ・火気の周辺、または熱気のコもる所 ・漏電または漏水の危険がある所 火災・感電の原因となります。また本製品や接続機器に悪影響を及ぼすことがあります。












⚠ 注意	
 禁止	直射日光の当たる所や、発熱器具の近くなど高温になる所に設置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。
 禁止	湿気やホコリの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。
 禁止	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。

使用方法について









⚠ 警告	
 ACアダプタを抜く	万一、機器を落としたりして破損した場合は、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 ACアダプタを抜く	万一、水や異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 禁止	機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。
 禁止	プラグ・入力端子をショートさせない 発熱・破裂・発火ややけどの原因になります。
 禁止	本製品の上に火のついたろうそくなどの裸火を置かない 火災・感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、本体やACアダプタに触れない 感電の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)



使用方法について (つづき)

⚠ 警告	
 必ず守る	小さなお子さまが本製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとでおこなう
 ACアダプタを抜く	長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く 火災や発火の原因になります。
 ACアダプタを抜く	本製品を持ち運ぶときは安全のため電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜く 故障や事故の原因になります。
 禁止	機器に乗らない 倒れたり、壊れたりしてけがの原因になります。とくに小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	本体を落としたり、振動を与えない 故障・火災・感電の原因になります。
 禁止	次のような使いかたはしない ・ 本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。 火災の原因になります。本体の周囲は10cm以上のスペースを確保してください。
 必ず守る	離れた場所に移動するときは、ACアダプタ・機器との接続ケーブルを外す 外さないまま移動するとACアダプタコードや配線が傷つき、火災・感電の原因になります。
 必ず守る	衝撃を与えないよう、ていねいに扱う 製品が破損し、けがの原因になります。
 必ず守る	使用する前に必ず音量を最小にする はじめから音量を上げすぎると突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。
 禁止	大きな音量で長時間聴かない 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴き続けると、聴力障害の原因になります。
 禁止	ゆがんだ音で使わない スピーカーが発熱し、火災や故障の原因になります。

リモコン電池の取り扱いについて

⚠ 警告	
 禁止	指定以外の電池を使用しない 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。
 禁止	加熱・分解・改造をしたり水などの液体や火の中に入れてない 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。
 禁止	火のそばや直射日光の当たる所など高温になる場所での使用や保管、放置はしない 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。
 禁止	液漏れした場合は素手で触れない 失明や皮膚の炎症などの原因になります。液が目や皮膚についたときはすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察・治療を受けてください。
 禁止	種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。
 必ず守る	電池は子どもの手の届かない所に置く 誤飲のおそれがあります。万一、飲み込んだときは直ちに医師に相談してください。
 必ず守る	長期間使用しないときはリモコンから電池を取り出す 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。
 必ず守る	極性(⊕, ⊖)を間違えないように正しく入れる 液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。

お手入れ・保管について

⚠ 警告	
 ACアダプタを抜く	お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
 禁止	お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジンなど)、みがき粉、金属たわしなどは使用しない 変形・変色・キズなどの原因になります。

使用上のご注意

使用上のご注意

- お客様の不注意による破損・故障・けが・事故・火災に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載のない目的や方法での使用、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。

本製品の用途について

- 本製品は一般家庭における使用を想定した製品です。業務使用など、その他の用途では絶対に使用しないでください。

制限事項

- **本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失などについては、弊社では一切その責任を負いません。**
- ラジオやテレビ、オーディオ機器などの近くでは誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 強い電波やノイズが発生している場所の近く、2.4GHz帯の製品が多い場所などの場合、ノイズ混入や音切れが発生したり、ほかの無線機器の動作に影響をおよぼす場合があります。
- 本製品を使用して情報漏えいなどが発生しても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本説明書だけでなく、接続する機器側の説明書もよくお読みになり、使用上の注意などを守ってご使用ください。
- 通信距離が有効範囲内であっても、特定の環境下（人体・金属・棚・壁など）や周囲の電波状況によってはご使用になれない場合があります。
- 対応している機器でも、機器のバージョンアップなどにより動作に支障が生じる可能性があります。その際の責任は負いかねます。
- 本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任を負いかねます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

電波について

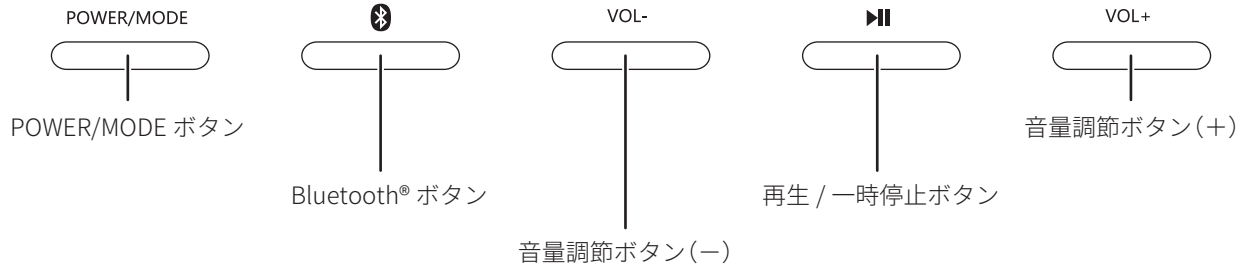
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品を、次の場所で使用しないでください。
 - ・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生する所
 - ・ 2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります）
- 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・ 産業、科学、医療用機器、アマチュア無線局
 - ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・ 無線LAN製品、無線機能を搭載した製品
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、本製品の分解、改造をおこなうと法律で罰せられることがあります。
- 本製品を使用する場合、前記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発信を停止して電波干渉を回避してください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様サポートセンターへお問い合わせください。

リモコンの取り扱いについて

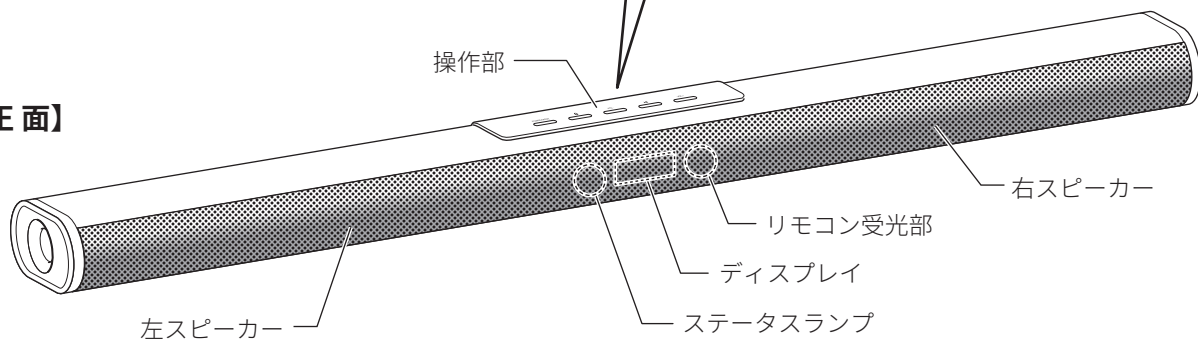
- 取り扱いの際はリモコンを落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないようご注意ください。
- 直射日光が当たる所、暖房器具のそばや湿度が高い所には置かないでください。

各部のなまえ

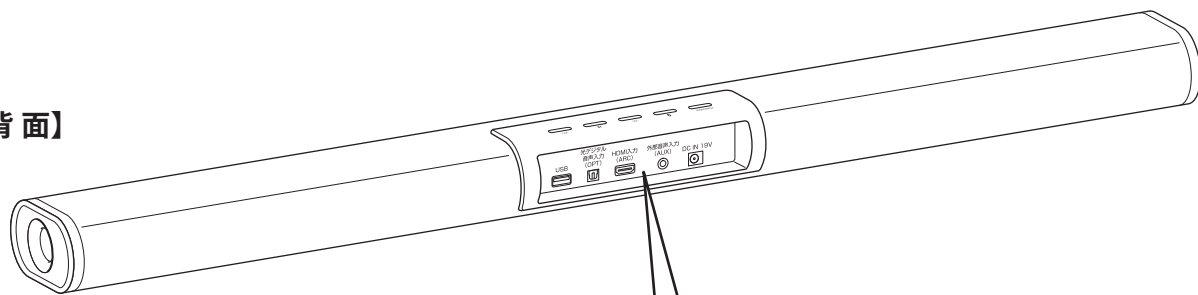
操作部



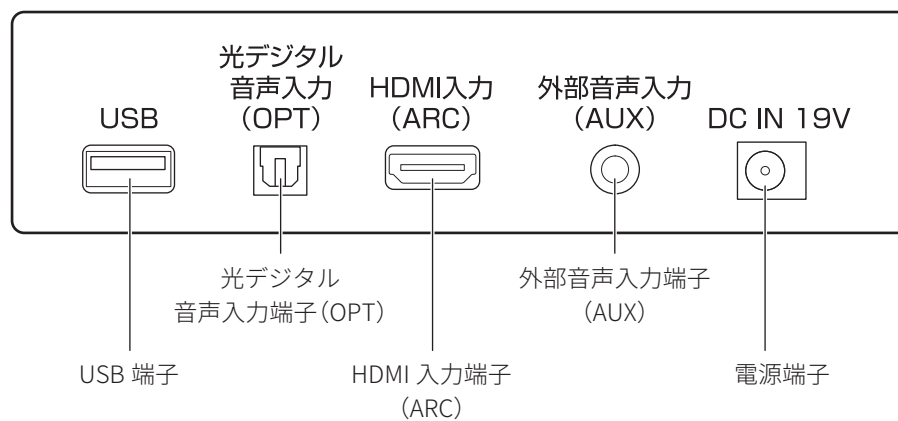
【正面】



【背面】

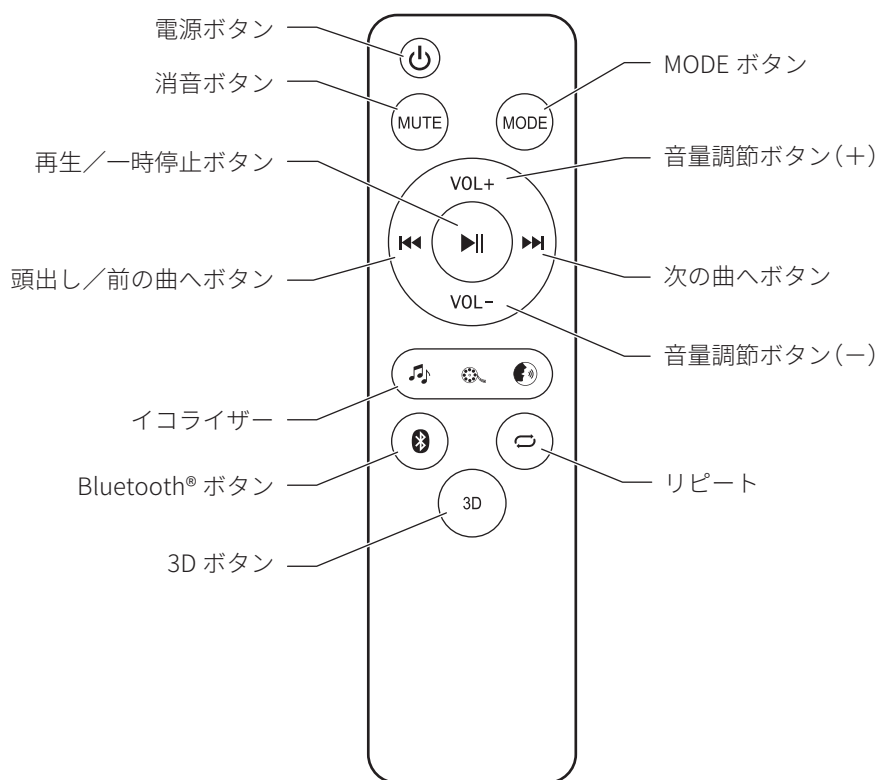


端子部



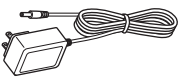



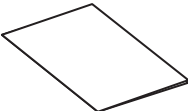
各部のなまえ(つづき)

リモコン



付属品

以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

ACアダプタ 【1個】		3.5mm ステレオ ミニプラグケーブル 【1本】		リモコン 【1個】	
HDMI ケーブル 【1本】		取扱説明書/保証書 【1部】			

※ リモコン用の電池は付属していません。市販の単4形乾電池を使用してください。

※ 本書に記載のイラストなどは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

本体の準備

リモコンの準備

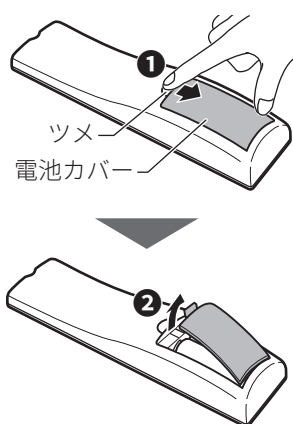
お知らせ

- 電池は付属しておりません。市販の単4形乾電池を使用してください。

電池を交換するときは

1 電池カバーを外す

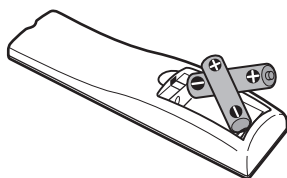
リモコン裏面にある電池カバーのツメ部分を押しながら(①)、カバーを持ち上げて外します(②)。



2 乾電池を入れる

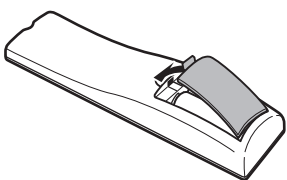
単4形乾電池2本をケース内の表示通りに入れます。

※ 電池を入れる際は電池の極性(⊕, ⊖)をよく確かめてください。



3 電池カバーを閉める

カバー下部のツメをリモコン本体の溝に差し込んでから、カバー上部をパチンと音がするまで押し込みます。

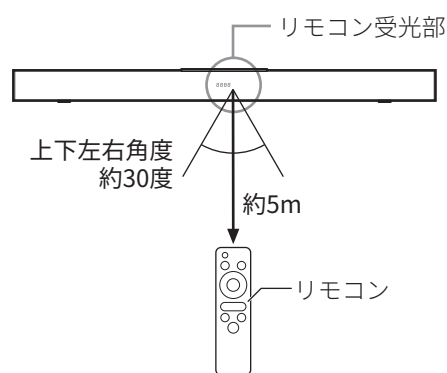


リモコンの受光範囲

※ リモコンは本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

※ リモコンの受光範囲は受光部より約5m以内です。

正面から見た図



● リモコン操作で本製品が動作しない場合は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい乾電池に交換してください。

● 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明または本製品の向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。

① ご注意

- リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- 水にぬらしたり、温度や湿度の高い所に置かないでください。
- リモコンを落としたりして強い衝撃を与えないでください。

※ 使用済みの乾電池について
使用済みの乾電池は、お住まいの地域で定められた規則に従って正しく廃棄処分してください。

機器を接続する

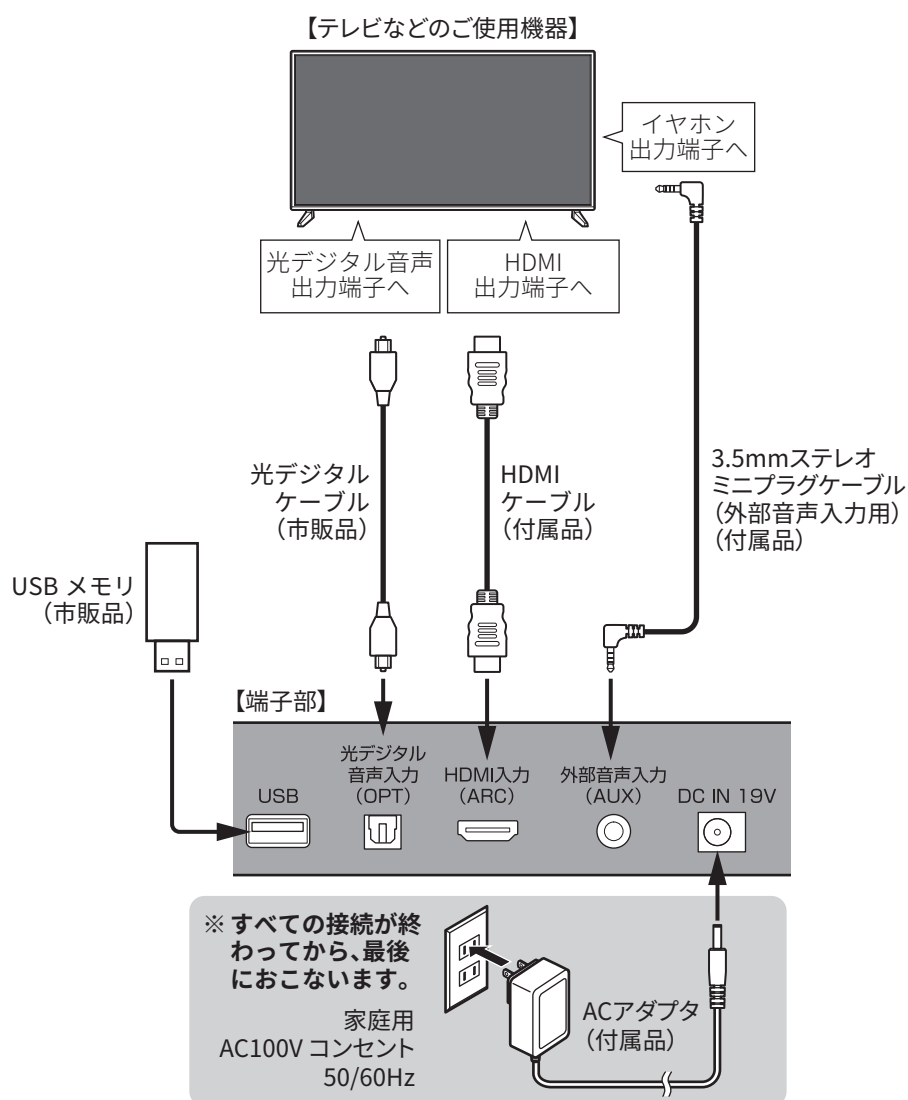
本製品はBluetooth®による接続のほか、背面の各入力端子に外部機器などを接続してお使いいただけます。各機器の接続のしかたは以下のとおりです。

お知らせ

- 本製品のHDMI端子はARCに対応しています。
※ 接続する機器がARC対応ではない場合、別途光デジタルケーブルの接続が必要です。
※ 光デジタルケーブルは付属していません。必要に応じて市販品をご使用ください。

すべての接続が終わってから、最後にACアダプタをコンセントに接続してください。

ACアダプタをコンセントに接続すると、表示部に「- - - -」と一度表示され、すぐに消灯します。




お知らせ

- ARC対応のテレビと本製品をHDMIケーブルのみで接続する場合、HDMIコントロール機能を有効にしてください。
 - HDMIコントロール機能を使用している音声出力先を、テレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。
- ※ 設定の変更は接続するテレビの取扱説明書をご確認ください。

使いかた

電源を入れる／切る

電源を入れる

本体のPOWER/MODEボタン、またはリモコンの  ボタンを押す

表示部に現在のモード名が表示されます。

※ モードについては次項「モードを切り替える」をご確認ください。

お知らせ

- ・ 本製品の電源が入っているときにUSBメモリを接続すると、自動でUSBモードに切り替わり、USBメモリ内に保存されている音声は自動再生されます。(➡ 17ページ参照)

電源を切る

電源が入っている状態で本体のPOWER/MODEボタンを長押し(約2秒)する、
またはリモコンの  ボタンを押す

表示部が消灯し、電源が切れます。

モードを切り替える


本体のPOWER/MODEボタンを繰り返し押す、
またはリモコンの  ボタンを繰り返し押す

モードを切り替えるたび、該当するモード名が表示部に表示されます(下表参照)。

モード名	表示部の表示
Bluetooth®モード	bt (bt)
USBモード*	USB (USb)
HDMI (ARC)モード	ARC (ARC)
AUXモード	AUX (AUX)
光デジタル音声出力モード	OPT (OPT)

* 本製品にUSBメモリが接続されていないときは、USBモードに切り替えることはできません。

※ 本体にUSBメモリを接続すると、自動でUSBモードに切り替わり、USBメモリ内の音声は自動再生されます。

※ 本体またはリモコンの  ボタンを押せば、直接Bluetooth®モードに切り替えることができます。

※ 一度電源を切ったあとも、次回電源を入れた際に、最後に使用したモードのまま使用できます。

※ 各モードについては11～18ページを参照してください。

使いかた(つづき)

Bluetooth® モード

Bluetooth® (ブルートゥース)について

本製品ではBluetooth®機能を搭載したスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー、パソコンなどの音声をワイヤレスで聴くことができます。

①ご注意

- Bluetooth®対応機器との通信は、見通しの良い場所でおこなってください。建物の構造や壁（とくに鉄筋コンクリート）などによっては通信距離が短くなり、雑音が入ったり通信できなくなる場合があります。
- Bluetooth®接続で使用する場合、無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の近くや電波状態の悪い環境で使用すると、Bluetooth®接続が途切れたり、通信速度が極端に低下するなどのエラーが発生することがあります。
- 本製品が同時に接続できるBluetooth®対応機器は1台のみです。
- 電波を発信する無線機や放送局の近くで正常な通信ができない場合は、使用場所を移動してください。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器とBluetooth®機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。このような場合は使用しない機器の電源を切ってください。

対応機種

- Bluetooth®対応機器（パソコン・携帯オーディオ・携帯電話・スマートフォン）

※ プロファイル（A2DP）が対応している機器に限ります。

※ 製品の性質上すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

使用方法につきましてはご使用の機器の取扱説明書のBluetooth®設定をご参照いただくか、機器の製造元にお問い合わせください。

使いかた(つづき)

本製品と Bluetooth® 機器をペアリングする

- ペアリングとは Bluetooth® 通信をおこなうスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー、パソコンなどに本製品を登録させる操作です。
 - はじめて Bluetooth® 接続をおこなうときや、ペアリング登録を解除したときは、ペアリングをおこなう必要があります。
 - 機器によりペアリング方法が異なりますので、各機器の取扱説明書に従ってペアリングしてください。
 - 本製品のデバイス名は「ESP-C900」です。
- ※ 機器やOSのバージョンによってペアリング方法は異なります。詳しいペアリング方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android の場合(例)

1 本製品 (ESP-C900) の電源を入れ、Bluetooth® モードに切り替える

表示部に「bt」と点滅表示され、ペアリングモード (Bluetooth® 接続待機状態) になります。

※ 「モードを切り替える」(⇒ 10 ページ参照)

2 ホーム画面で「設定」をタップする



3 「ワイヤレスとネットワーク」から「Bluetooth®」をタップする



4 「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にしたあと、「デバイス検索」をタップしてペアリング可能な機器を検索する



5 「使用可能なデバイス」に表示された「ESP-C900」をタップする



本製品からアラーム音が鳴り、表示部の「bt」が点灯に切り替わると接続完了です。

※ 接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。
(機種やバージョンによっては求められない場合があります。)

※ デバイス検索で何も表示されなかった場合は Android 機器の Bluetooth® 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。また、本製品の電源も一旦切り、再度電源を入れてペアリングさせてください。

6 音楽再生の操作をおこなう

※ 「操作のしかた」(⇒ 19 ページ参照)

- 機器によりパスキー (PIN コード) を求められたときは「0000」を入力してください。

使いかた(つづき)

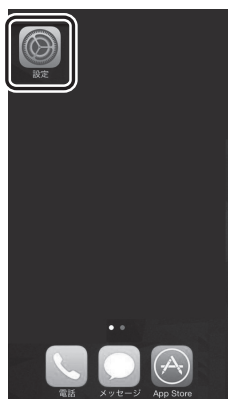
iPhone の場合(例)

1 本製品 (ESP-C900)の電源を入れ、Bluetooth® モードに切り替える

表示部に「bt」と点滅表示され、ペアリングモード (Bluetooth®接続待機状態)になります。

※「モードを切り替える」(⇒ 10 ページ参照)

2 ホーム画面で「設定」をタップする



3 「Bluetooth®」をタップする



4 「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にする



5 「その他のデバイス」に表示された「ESP-C900」をタップする



本製品からアラーム音が鳴り、表示部の「bt」が点灯に切り替わると接続完了です。

※ 接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。
(機種やバージョンによっては求められない場合があります。)

※「その他のデバイス」に何も表示されなかった場合は iPhone の Bluetooth® 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。また、本製品の電源も一旦切り、再度電源を入れてペアリングさせてください。

6 音楽再生の操作をおこなう

※「操作のしかた」(⇒ 19 ページ参照)

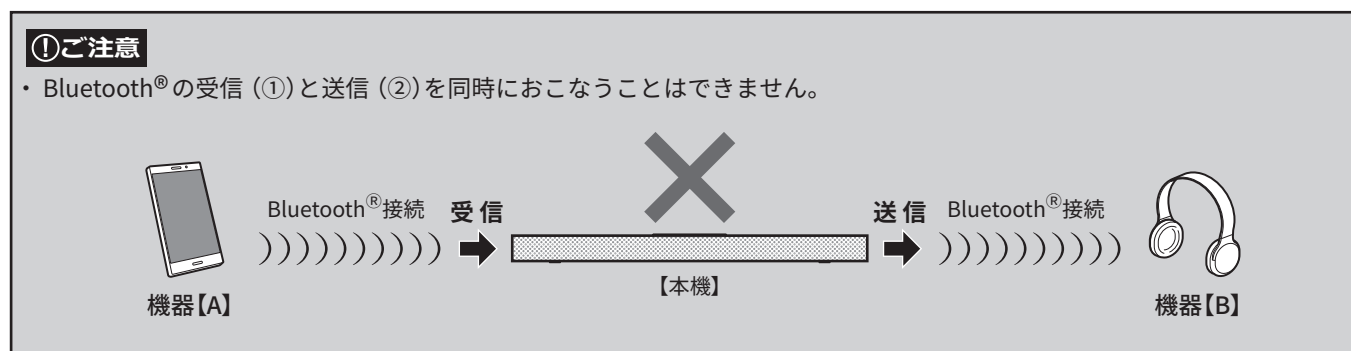
- 機器によりパスキー (PIN コード) を求められたときは「0000」を入力してください。

使いかた(つづき)

Bluetooth® モードで使う

本製品のご使用のBluetooth® モードは、以下の二つの使いかたができます。

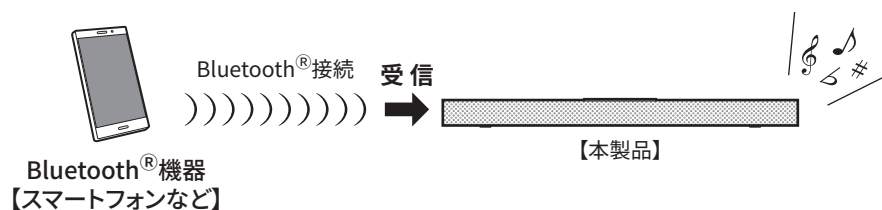
- ① 本製品のご使用の機器を Bluetooth® 接続し、Bluetooth® 機器の音声を再生する
- ② 本製品に有線接続 (HDMI ケーブルなど) した機器の音声を Bluetooth® 機器に送信して再生する



① 本製品で Bluetooth® 機器の音声を再生する

本製品のご使用の機器を Bluetooth® 接続し、本製品から音声を流します。

(例)



1 本製品の電源を入れて Bluetooth® モードに切り替え、ご使用の機器を Bluetooth® 接続する

- ※ 「モードを切り替える」(⇒ 10 ページ参照)
- ※ 「本製品と Bluetooth® 機器をペアリングする」(⇒ 12 ページ参照)

2 ご使用の機器を操作して再生する

本製品から音声が流れます。

- ※ 「操作のしかた」(⇒ 19 ページ参照)

■ 接続を解除するとき

本体またはリモコンの **Ⓜ** ボタンを長押し (約 2 秒) する

アラーム音が鳴って接続が解除され、表示部のモード表示が点灯から点滅に切り替わります。

- ※ 本製品のモードを切り替えたり、電源を切っても接続は解除されます。

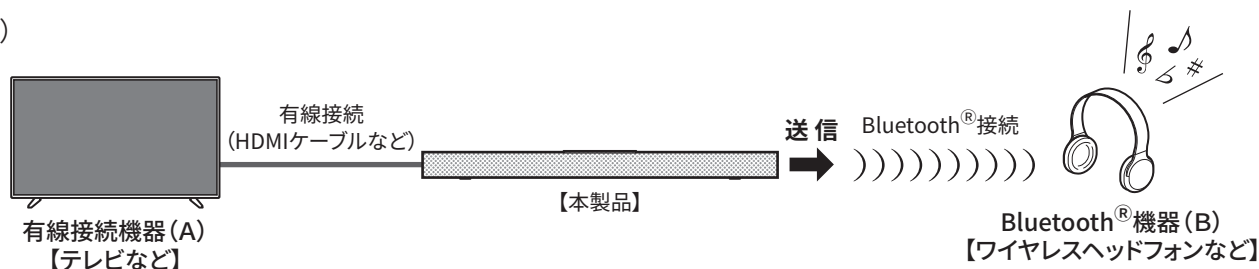
使いかた(つづき)

② 音声を別の Bluetooth® 機器に送信して再生する

本製品に有線接続した機器の音声を、別の Bluetooth® 機器 (Bluetooth® 対応ヘッドフォンなど) に送信して音声を再生することができます。

- 本製品と別の Bluetooth® 機器の両方から同時に音声を再生することができます。
また、本製品からの音声を消音にし、別の Bluetooth® 機器からのみ音声を再生することもできます。

(例)



- ※ 有線接続する機器をあらかじめ本製品に接続しておく必要があります。
- ※ 接続時に別の Bluetooth® 機器からの音声が遅れが生じますが、異常・故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ※ 本製品はパスコードやパスワード入力が必要とする Bluetooth® 機器には対応しておりません。
(パスコードは、パスキー・PINコード・PINナンバーなどと呼ばれることもあります。)

1 有線接続機器 (A) と本製品を有線接続し、それぞれの電源を入れる

付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルやHDMI (ARC) ケーブルなどで接続します。

- ※ 「機器を接続する」(⇒9ページ参照)

2 本体またはリモコンの ボタンを長押し (約2秒) する

ステータスランプが青色に点滅し、送信モード (別の Bluetooth® 機器への接続待機状態) になります。

- ※  を長押し (約2秒) すれば Bluetooth® 送信モードが「切」になります。

3 別の Bluetooth® 機器 (B) の電源を入れ、本製品のディスプレイ付近に近づける

接続が完了するとステータスランプが青色の点灯に切り替わります。

- ※ しばらくしても接続が完了しない場合は、再度手順2からの操作をおこなってください。

4 接続している各機器の操作をする

本製品や Bluetooth® 機器 (B) から音声が再生されます。

必要に応じて各機器で音量調節をしてください。

- ※ 「操作のしかた」(⇒19ページ参照)

■ 本製品からの音声を消音にして、別の Bluetooth® 機器 (B) からのみ音声を再生したい場合

本体の VOL + ボタン、またはリモコンの ボタンを長押し (約2秒) する

本製品からの音声が消音になります。

消音を解除したい場合は、本体の VOL + ボタンまたはリモコンの  ボタンを長押し (約2秒) してください。

■ 接続を解除するとき

本体またはリモコンの ボタンを長押し (約2秒) する

ステータスランプが消灯して Bluetooth® 送信モードが「切」になり、接続が解除されます。

- ※ 本製品のモードを切り替えたり、電源を切っても接続は解除されません。

使いかた(つづき)

AUXモード

付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルで本製品のAUX端子と接続機器のイヤホン出力端子などを接続し、接続機器の音声を流すことができます。

①ご注意

- ・ 本製品に付属以外の3.5mmステレオミニプラグケーブルを使用した場合、正常に動作しない場合があります。

AUXモードで使う

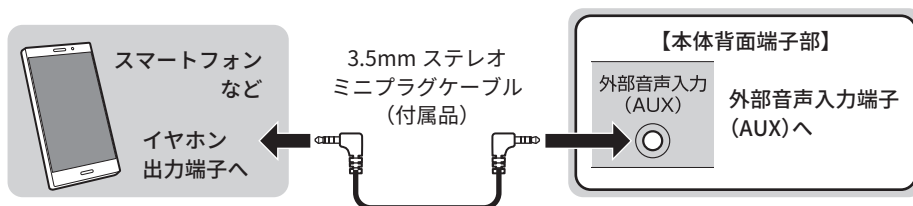
本製品のAUX端子とご使用の機器のイヤホン出力端子を付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続してから電源を入れ、AUXモードに切り替える

表示部に「AUX」と表示されます。接続機器側で再生操作をしてください。

※「モードを切り替える」(⇒10ページ参照)

※スマートフォンなどに接続するときはカバーやケースなどを取り外して接続してください。プラグが根元まで差し込まれていないと、音が出なかったりノイズが入る場合があります。

※「操作のしかた」(⇒19ページ参照)



光デジタル音声出力モード

テレビなどと接続すると、テレビのスピーカーと本製品の両方から音声が流れます。

お知らせ

- ・ 本製品をテレビと接続した場合、テレビの音量を変更しても本製品の音量は変わりません。

光デジタル音声出力モードで使う

本製品の光デジタル音声入力端子とご使用の機器の光デジタル音声出力端子を市販の光デジタルケーブルで接続してから電源を入れ、光デジタル音声出力モードに切り替える

表示部に「OPT」と表示され、接続機器の音声が流れます。

※「モードを切り替える」(⇒10ページ参照)

※「操作のしかた」(⇒19ページ参照)

使いかた(つづき)

HDMI (ARC)モード

お知らせ

- ・ 本製品をテレビと接続した場合、**テレビの音量を変更すると本製品の音量も連動して変更されます。**
また、**テレビの電源を切ると本製品も連動して自動で電源が切れます。**
- ※ ご使用の機器によっては、本製品と連動せず正常に動作しない場合があります。

HDMI (ARC)モードで使う

本製品のHDMI入力 (ARC) 端子とご使用の機器のHDMI (ARC) 端子を付属のHDMIケーブルで接続してから電源を入れ、HDMI (ARC) モードに切り替える

表示部に「ARC」と表示され、接続機器の音声が流れます。

※ 「モードを切り替える」(⇒ 10 ページ参照)

※ 「操作のしかた」(⇒ 19 ページ参照)

USBモード

USB端子に挿入したUSBメモリの音楽・音声を聴くことができます。

お知らせ

- ・ 本製品にUSBメモリを接続していないとUSBモードに切り替えることはできません。

- ※ USBメモリにはMP3形式以外のファイルを記録しないでください。本製品で認識できない場合があります。
- ※ MP3形式のファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本製品で再生できない場合があります。また、ファイルをフォルダ別または階層で管理・記録している場合も、再生できない可能性があります。

①ご注意

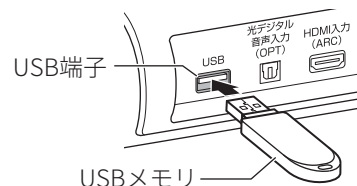
- ・ USBメモリの抜き差しは必ず本製品の電源が「切」の状態でおこなってください。
- ・ 再生中または動作終了直後にUSBメモリを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

USBを挿入する

本製品の電源が「切」の状態、USB端子にUSBメモリを差し込む

端子の向きを確認して差し込んでください。

※ 差し込む方向を間違えないようにご注意ください。



使用可能なUSBメモリ

最大容量：32GB
対応規格：USB2.0
対応ファイル形式：MP3
対応ビットレート：32～320kbps

使いかた(つづき)

USBモードで使う

本製品のUSB端子にUSBメモリを接続してから電源を入れ、USBモードに切り替える

表示部に「USB」と表示され、自動で再生が始まります。

※電源が入っている状態でUSBメモリを接続すると、自動でUSBモードに切り替わり再生が始まります。
音量には十分ご注意ください。

※「モードを切り替える」(⇒10ページ参照)

※「操作のしかた」(⇒19ページ参照)

リピート

USBメモリ内の音声をリピートします。

お知らせ

- ・リピート設定を本製品でおこなうことができるのはUSBモード時のみです。その他のモードの場合は、ご使用の機器側でリピート設定をおこなってください。

リモコンの ボタンを押す

押すたびに「ONE」と「ALL」が切り替わります。

表示部に、現在のリピートモード(「ONE」または「ALL」)が表示されます。




一曲を繰り返し聴きたい場合は「ONE」を、USBメモリに入っているすべての曲をリピートしたい場合は「ALL」にしてください。

そのほかの機能について

音質を調節する(イコライザー)

本製品から流れる音声の音質を調節します。

リモコンのいずれかのイコライザーボタンを押す

 (ボタン左)	「EQ 0 (Eq 0)」と表示されます。通常モードになります。
 (ボタン中央)	「EQ 1 (Eq 1)」と表示され、低音が強調された音質になります。
 (ボタン右)	「EQ 2 (Eq 2)」と表示され、高音が強調された音質になります。

3D機能を使う

本製品から流れる音声をリアルで立体感のある3Dサラウンドにする機能です。

リモコンの ボタンを押す

押すたびに「3d」と「no3d」が切り替わります。

表示部に、現在の設定(「3d」または「no3d」)が表示されます。

3D機能を使う場合は「3d」に、3D機能を切にする場合は「no3d」にしてください。

使いかた(つづき)

操作のしかた

音量+ / -

本体またはリモコンのVOL + / VOL - ボタンを押す

押すたびに表示部に現在の音量が表示されます。

※ 音量レベルは00 ~ 32まであります。


※ リモコンで操作する場合は長押ししても音量を変更できます。

※ 音量は接続機器側でも調節してください。

消音

リモコンの  ボタンを押す

消音中は表示部が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

※ HDMI (ARC) モード、光デジタル音声出力モード、AUX モードの場合は、本体またはリモコンの  ボタンを押しても MUTE ボタンと同様に消音になります。

再生 / 一時停止 (Bluetooth® モード、USB モードの場合のみ)

本体またはリモコンの  ボタンを押す

押すたびに再生 / 一時停止が交互に切り替わります。

次の曲へ (Bluetooth® モード、USB モードの場合のみ)

リモコンの  ボタンを押す

次の曲を再生します。

※ USB モードでリピート機能を「one」に設定している場合は、現在の曲を最初から再生します。

※ 本体での操作はできません。

前の曲へ (Bluetooth® モード、USB モードの場合のみ)

Bluetooth® モードの場合：リモコンの  ボタンを短く 2 回押す

USB モードの場合：リモコンの  ボタンを押す

前の曲を再生します。

※ USB モードでリピート機能を「one」に設定している場合は、現在の曲を最初から再生します。

※ 本体での操作はできません。

頭出し (Bluetooth® モードの場合のみ)

リモコンの  ボタンを押す

現在の曲を最初から再生します。

※ 本体での操作はできません。

使いかた(つづき)

モード別の操作のしかた

本体／リモコンでの操作、ならびにご使用のモードによって操作できる内容が異なります。

本体での操作

操作内容	Bluetooth®モード	USBモード	HDMI (ARC)モード	AUXモード	光デジタル音声出力モード
電源「入」／「切」	「入」：POWER/MODE ボタンを押す 「切」：POWER/MODE ボタンを長押し(約2秒)する				
モード切り替え	POWER/MODE ボタンを押す				
Bluetooth®モードに切り替え	—	Bluetooth ボタンを押す			
再生／一時停止	(曲の一時停止中／再生中に) ▶ ボタンを押す		—		
音量+	VOL+ ボタンを押す				
音量-	VOL- ボタンを押す				
消音	—		▶ ボタンを押す		

※ 本体で操作できない機能があります。その場合は付属のリモコンを使用してください(リモコンでの操作は下表参照)。

リモコンでの操作

操作内容	Bluetooth®モード	USBモード	HDMI (ARC)モード	AUXモード	光デジタル音声出力モード
電源「入」／「切」	⏻ ボタンを押す				
モード切り替え	MODE ボタンを押す				
Bluetooth®モードに切り替え	—	Bluetooth ボタンを押す			
再生／一時停止	(曲の一時停止中／再生中に) ▶ ボタンを押す		—	機器側で操作	—
音量+	VOL+ ボタンを押す				
音量-	VOL- ボタンを押す				
消音	MUTE ボタンを押す		MUTE ボタンを押す または ▶ ボタンを押す		
次の曲へ	▶▶ ボタンを押す		—	機器側で操作	—
前の曲へ	◀◀ ボタンを短く2回押す	◀◀ ボタンを押す	—	機器側で操作	—
頭出し	◀◀ ボタンを押す	—	—	機器側で操作	—
リピート	—	⌂ ボタンを押す	—	機器側で操作	—
イコライザー	EQ ボタンを押す				
3D	3D ボタンを押す				

※ 本製品に早送り／早戻し機能はありません。

※ 使用するアプリなどによっては操作のしかたが異なったり、正常に動作しない場合があります。

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡裏表紙）までお問い合わせください。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタが抜けている、または抜けかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。
音が聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタが抜けている、または抜けかかっている。 接続ケーブル類が抜けている、または抜けかかっている。 音量が最小または消音になっている。 機器が正しく接続されていない。 再生したい音声入力を選択されていない。 テレビ側のHDMIコントロール機能が無効に設定されている。 HDMIコントロール機能を使用しているテレビの音声出力先がテレビの内蔵スピーカーになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。 接続ケーブル類をしっかりと差し込んでください。 本製品、ならびに接続機器側で音量を調節してください。 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 本体またはリモコンでモードを切り替えてください。 ARC対応のテレビと本製品をHDMIケーブルのみで接続する場合、HDMIコントロール機能を有効に設定してください。[*] 無効の状態では本製品から音声を出力するには、光デジタルケーブル（別売）で接続してください。 テレビのHDMIの設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。[*]
Bluetooth®で接続中に雑音やノイズが発生する、音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> 接続するBluetooth®機器と本製品の距離が離れている。 無線LANアクセスポイントや、ほかの2.4GHz帯無線機器、電子レンジなどの電波干渉源が近くにある。 本製品と接続機器との間に電波の障害となる障害物などがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続するBluetooth®機器と本製品を近づけて使用してください。 電波干渉源と思われる機器から離してご使用ください。 障害物を避ける、あるいは障害物を取り除いてからご使用ください。
Bluetooth®機器からの再生ができない（ペアリングはできている）	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth®機器の音量が小さい。 接続中のBluetooth®機器で音楽再生を開始していない。 使用したいBluetooth®機器がA2DP（音楽用プロファイル）に対応していない。 Bluetooth®機器のBluetooth®機能が無効になっている。 本製品とほかのBluetooth®機器がペアリングされている。 本製品がBluetooth®モード以外のモードになっている。 近くにほかのBluetooth®機器がある。 接続するBluetooth®機器と本製品との距離が離れすぎている。 使用したいBluetooth®機器がA2DP（音楽用プロファイル）に対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth®機器側の音量を確認してください。 接続中のBluetooth®機器を操作して音楽再生を開始してください。 お使いのBluetooth®機器でA2DP（音楽用プロファイル）がサポートされているか確認してください。 接続するBluetooth®機器のBluetooth®機能が有効であることを確認してください。 ほかのBluetooth®機器の電源を切るか、Bluetooth®機能を無効にしてペアリングを解除してください。 Bluetooth®モードに切り替えてください。 ほかのBluetooth®機器の電源を切るか、その機器から離れた場所でペアリング操作をしてください。 接続するBluetooth®機器と本製品を近づけてからペアリング操作をしてください。 お使いのBluetooth®機器でA2DP（音楽用プロファイル）がサポートされているか確認してください。
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が切れている。 リモコンをリモコン受光部に向けていない。 本製品から離れすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池に交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。 リモコンの受光範囲は、本体受光部正面より約5m以内です。受光範囲内で操作してください。

^{*} テレビなどの接続機器の設定変更については、接続機器側の取扱説明書をご確認ください。

おもな仕様

品名	Bluetooth®送受信機能付きバースピーカー
品番	ESP-C900

スピーカー部

電源	専用ACアダプタ	入力	AC100-240V 50/60Hz
		出力	DC19V 2.5A
消費電力	50W		
待機時消費電力	0.5W		
スピーカー	約 50 × 130mm 6Ω 2個		
実用最大出力	25W + 25W		
再生可能周波数帯域	50Hz ~ 20kHz		
S / N 比	≥ 75dB		
メディア最大容量	USB2.0対応USBメモリ：最大 32GB		
対応フォーマット	MP3		
入力端子	光デジタル音声入力端子 HDMI (ARC)入力端子 HDMI Ver. 1.4 外部音声入力端子 USB端子		
許容温度範囲	5 ~ 35°C		
ACアダプタコード長	約 1.5m		
外形寸法	約 900 (W) × 95 (D) × 70 (H)mm		
質量	約 1.6Kg		
付属品	リモコン、ACアダプタ、3.5mmステレオミニプラグケーブル、HDMIケーブル、取扱説明書／保証書		
製造国	中国		

Bluetooth®部

Bluetooth®バージョン	5.0
対応プロファイル	A2DP / AVRCP / GAVDP
通信距離*	最大約 10m
送信出力	Class2

* 使用環境により異なります。

※ 外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※ 本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

※ Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社アズマは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

保証書

品名	Bluetooth®送受信機能付きバースピーカー	品番	ESP-C900
	お名前		様
お客様	ご住所 〒□□□-□□□□		
	お電話		
	お買い上げ日	20□□年□□月□□日	
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間		
販売店	店名		
	住所		
	電話		

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下による故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※ この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

アフターサービス

- 万一、本体を落したり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品名	Bluetooth®送受信機能付きバースピーカー	品番	ESP-C900
-----	--------------------------	----	----------

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前10時～午後5時(土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。

(輸入発売元) **株式会社アズマ** 〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山3丁目2番10号